

会社を利用していている場合のいずれにおいても、経営上様々な課題を抱えているケースがある。そのなかで、ビル経営を総合的に改善していくためのコンサルティングサービスがある。

それはウイザーズコンサルティング（東京都千代田区）が展開している「ビル経営改善コンサルティング」だ。同社が現状のビル経営における収支状況等を審査した上で、コスト削減と収入アップを両立させていく。

このサービスを始めた緯について、代表取締役の井主晃平氏は「自主管

ウイザーズ・オブ・ザ・カルテイジング

代表取締役  
井主 晃平氏

を当社のサービスで補つ  
ていく形ですが、管理会  
社を利用していいる場合、  
オーナーが一任していいる  
ケースも多くあり、それ  
が経営状況を悪化させて  
いること  
もありま  
す」と話  
す。どう  
いうこと  
だろう  
か。

自体の必要性が疑問視されることはなく、少なからずあります。当社ではこれまで60棟のビルでこのような事例のコスト削減を実行してきました

加えて、しばしばある事例は未回収賃料の発生だ。管理会社によつてはリーシングを得意としていない事業者も存在する。そうすると、テナント

審査させていただきます。当社のサービスは完璧成功報酬型で行っておりますので、初期費用をいただきことはありません」と話す。

「かなり特異な事例ですが、あるビルでは未回収の賃料が1億円にまで上っているケースもありました。ふつうは2カ月～3カ月で対応を始めますので、ここまで莫大な

自体の必要性が疑問視されることは少くありません。当社ではこれまで60棟のビルでこのような事例のコスト削減を行してきました」

そのため同社では工事内容や項目のチェックを行い無駄を削減していくとともに、管理会社に対しても提案を行つていく。「あまりにもひどい場合は管理会社の変更をお手伝いさせていただくこともあります」（井主氏）という。

加えて、しばしばある事例は未回収賃料の発生だ。管理会社によつてはリーシングを得意としている事業者も存在する。そうすると、テナントが撤退したときに新しいテナントをつけることが難しくなるため、賃料滞納が発生しても対応しない場合もある。

「かなり特異な事例ですが、あるビルでは未回収の賃料が1億円にまで上っているケースもありました。ふつうは2カ月～3カ月で対応を始めますので、ここまで莫大な

額になることはしばしばあります」（井主氏）

このような賃料回収も全面的に支援することができる。同社ではグループ内に弁護士などの各士業者を抱えている。同時に賃料増額交渉も担当でき、適正賃料に修正していくことも可能だ。

井主氏は「ビルオーナーで収益向上やコスト削減に悩まれている方は、一度ご相談いただければ無料でビルの経営状況を審査させていただきま

す。当社のサービスは完全成功報酬型で行つておりますので、初期費用をいただきことはありません」と話す。

また同社では定期的にセミナーを開催している。このセミナーに参加してサービスの全体像をつかむことも一考だ。同社公式サイトでは随时セミナー情報を公開している。長期的にビル経営を行つていくヒントが満載だ。より良い経営を目指すビルオーナーは見逃すことはできない。